

◆第26回日赤図書館協議会研修会◆

看護分野における資料の調べ方

佐藤 晋 巨

抄録：雑誌論文をデータベースを使って調べる方法についてご紹介します。看護分野における検索は、データベースにキーワードを1、2個入れて検索すれば思った論文が見つかるほど簡単ではなく、病名とそのケアに限らず、対象とする方の生活環境や人間関係、気持ち等の複数のキーワードがあり、検索しても文献が見つからないと相談を受けることがよくあります。検索の手順とコツについてご紹介します。

キーワード：文献検索、情報の蓄積と検索、図書館員、書誌データベース

I. 看護分野における資料の調べ方

文献検索は得意ですか。欲しかったと思える文献を見つけられていますか。私は看護学部を有する大学図書館で学生や教職員の文献検索相談を受ける仕事をしています。正直なところ看護の文献検索は難しく、相談を受けながら一緒に試行錯誤を重ねる事がしばしばあります。ここでは雑誌論文をデータベースで調べる方法について、私なりの方法をご紹介します。

看護分野における資料を探するとき難しいという印象を受ける理由の1つに、探したいことを検索できるキーワードにまとめるのが難しい事があります。例えばこんな検索テーマです。

「入退院を繰り返している軽度認知症状の

みられる高齢の糖尿病患者さんが、退院後に一人暮らしを継続できるように、入院中の早い時期から看護師が支援することに関する患者と家族の思い」

検索テーマには、対象とする患者さんの病名（症状）とそのケア以外に、対象とする方の生活環境、ケアを行う時期、患者と家族の人間関係と気持ちに関する事柄が含まれています。病気ではなく人をケアする看護ならではの特征ではないかと思います。この検索テーマから、検索に使うキーワードを考えるとしたらどうしますか。先頭から単純にキーワードになりそうな言葉を抜き出していくと次のように沢山の言葉があげられます。「入退院を繰り返す」「軽度認知症」「高齢」「糖尿病」「退院後」「一人暮らし」「入院中」「早い時期」「看護師」「支援」「患者と家族の思い」。全ての言葉をキーワードとしてデータベースで検索すると、検索結果はゼロ件になりそうなことが予想できます。

SATO Kuniko

聖路加国際大学 学術情報センター 図書館
kunikos@slcn.ac.jp

抜き出した言葉を改めて見ると、「早い時期」「患者と家族の思い」のように大事な要素ではありますが、そのまま検索のキーワードとして用いるべきか、「早期に」等と言い換えた方が良いのか迷う言葉があることも、難しいと感じる要因の一つであると思います。

II. 情報の検索手順

検索の手順を図1で単純化しました。

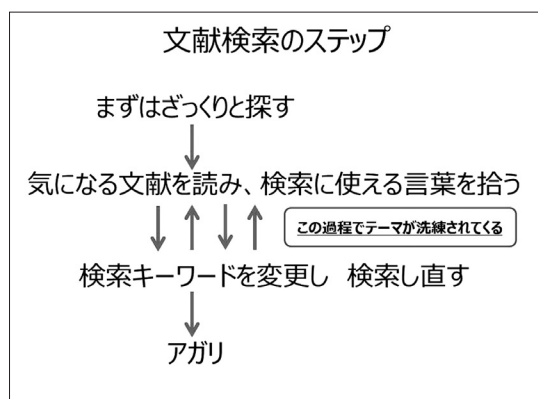


図1

まずは思いつく言葉をキーワードにしてざっくりと検索します。ここで終わりとは考えず、とりあえず検索してどんな文献が出てくるか様子を見る段階です。出てきた結果の中から気になる文献を読み、検索に使える言葉を拾い集めます。検索キーワードを変更して検索し、良さそうな論文が見つかったら検索終了で「アガリ」という流れです。

図1で矢印の方向が上から下へ一方通行に進むのではなく、「検索して読む」を何度か繰り返しながら、探す内容を見直して整理する過程があることを記載しました。適当な論文が何個も見つかったので検索の段階を終えて、次の段階として論文を読みこむのではなく、「検索して読む」を何度か繰り返しながら探したいことが何か、探したいことを表す

言葉は何かを整理します。他の人の言葉を読むことで、自分が探したいことがどのような言葉で書かれているのか、探したいことは何かをよく考えてキーワードを入れ替え検索をやり直します。例えば次の検索テーマについて、探したいことはデータベースで検索できる言葉になっているでしょうか。

「病棟における看護師長のマネジメント能力について書かれた文献を読みたい」

この文章からキーワードになりそうな言葉を抜き出すとしたら、例えば「病棟」「看護師長」「マネジメント能力」でしょうか。まずはざっくりと探す段階でしたら、このまま3つのキーワードで検索します。ざっくりとした検索ですので、検索結果の数が多すぎたり、結果に欲しいような内容の論文が含まれていないかもしれません。ここから図1の矢印が行ったり来たりしている「検索して読む」作業をします。自分が探したい「看護師長」とはどんな人か、「マネジメント能力」とは何かについて、検索結果に出てきた論文にはどんな言葉で書かれているのかを読み考えます。「看護師長」というキーワードで検索したが「看護管理者」でもよいのか、「マネジャー」あるいは「看護主任」ではどうか。「マネジメント能力」にはリーダーシップ、人材育成、労務管理等の色々な能力が含まれると書かれているが、自分はどの能力について探そうと考えているのか、といった感じです。考えていく過程で、探したいことが変わってくるかもしれません。例えば、実はマネジメント能力について探したいのではなく、若手看護師の離職率が高いので、魅力的な人材育成プログラムを整えることについて探したい、

となると検索に使うキーワードも変わります。

最初はあまり難しく考えず、データベースで検索して行き詰まるようでしたら、思いつく言葉をインターネットで探してみたら良いと思います。もし紙の雑誌や電子ジャーナルを見られる環境にあるのであれば、関連しそうな名前の雑誌の目次に目と通すのも出会いがあると思います。図書室がお近くにあるようでしたら、図書室の本は内容ごとに分けられて本棚に入っていますから、関連した内容の本が置いてある本棚に行き、並んでいる本の目次や索引を見て検索に使える言葉や関連する情報を探すのも良い方法です。

Ⅲ. 探したい言葉と検索に用いる言葉

論文データベースは、キーワードを入れて検索すると、キーワードと同じ言葉が論題・抄録等にある論文を検索結果に出します。「最新看護索引 Web」と「医中誌 Web」には、キーワードと少し言葉が違っていても内容が近い論文があれば検索できる便利な機能があります。この機能は、論文の内容を示す件名（シソーラス用語、統制語と言われることもある）をタグのように論文に付けることで、少し違う言葉で検索した場合でも内容が近ければ検索できる便利な機能です。詳しい仕組みについては各データベースの説明で確認してください。

便利な機能のある「最新看護索引 Web」「医中誌 Web」を検索して読みたい論文が見つかったら、まずは「件名」あるいは「シソーラス用語」と表示された箇所を見てください。そこには論文の内容を表すキーワードとして使える言葉が並んでいます。今までの検索で使っていない言葉があったら、キーワードに加えて（あるいは入れ替えて）検索すること

をお勧めします。これは違うと思った言葉であっても、読みたい論文の「件名」「シソーラス用語」繰り返し現れるようでしたら試しに検索に使ってください。例えば「組織の文化」「労働衛生」といった少し大仰かなと感じる件名もありますが、職場の環境や働き方に関する文献を探す際に使用すると関連の深い文献が見つかる便利な言葉もあります。

もしキーワードを変更したことで検索結果に読みたい論文が少なくなってしまったら元のキーワードに戻します。

複数のキーワードを使い検索する場合、キーワード同士の関係性を指定して検索することはできません。例えば「看護師の思い」について知りたくて「看護師」「思い」と検索すると「看護師の思いに」に関する論文も見つかりますが、「看護師」とどこかに書いてある「患者の思い」に関する論文も検索結果に含まれます。そんな時「件名」「シソーラス用語」を使うことで、キーワード同士の関係性をある程度反映した検索ができます。例えば看護師が患者に対して抱く思いの場合は、シソーラス用語である「看護職－患者関係」と「思い」をキーワードにすることで、看護職と患者の間の思いに絞って探すことができます。ただし、この場合も思いの方向までは指定できません。看護師が患者に対して抱く思いなのか、患者が看護師に対して抱く思いなのかは出てきた論文を見て判断が必要です。その他、人間関係については「親子関係」「患者－家族関係」等のシソーラス用語があります。シソーラス用語の活用方法は是非お近くの司書にお尋ねください。

「最新看護索引 Web」には看護師や学生がとりあえず検索の段階で用いるキーワードと同じ件名が多くあります。看護教育の演習

に関する件名は「成人看護学演習」「母性看護学演習」「看護過程演習」「実技演習」「学内演習」等々多数あります。「新人看護師」に関する件名だけでも「新卒看護師」と「新人看護師」の2種類あります。まずは最初に思いつく言葉でざっくりと検索してみる際に使用すると便利です。海外の文献を探せるデータベース「CINAHL(Cumulative Index to Nursing and Allied Health Literature)」も看護に関する件名が細かく設定してあります。「PubMed」をざっくりと検索すると大量の結果に圧倒されることがありますが、「CINAHL」ですとより細かく件名を指定できるので合わせて使うと便利です。「最新看護索引web」「CINAHL」はこのように細かく件名を指定できますので、その件名で探せる論文の数が少ない場合もあります。ぴったりの件名だけで検索は終了、試行錯誤の段階で関連する用語を確認するのもお忘れなく。

IV. キーワードで絞り過ぎない

データベースで検索するとき、思いつく全てのキーワードを入れて絞り込み過ぎないようにご注意ください。検索する際は全てのキーワードを使わず、これは絶対に検索結果に入っていないと思うキーワードを厳選して検索し、出てきた検索結果から取捨選択することをお勧めします。

データベースの検索は「くじ引き」のように中が見えない箱の中に手を入れ、これが当たりと感じたくじを取り出す感覚に近いと思います。自分が探したい事について書かれた論文があるのか無いのかわからない状態で、

鍵となる言葉「キーワード」を入れて検索します。鍵とその組み合わせが異なると結果には表示されません。繰り返しになりますが、論文が見つからないのは、探している内容の論文が存在しないのか、あるいは「キーワード」が合っていないのか、それとも使っているデータベースでは探せないのかわかりません。試行錯誤の段階でつけたキーワードを全て使おうとせず、大事なキーワードは何か優先順位をつけ、検索してその結果から選択しても遅くはありません。少し多めに論文が見つかったとしても鋭い選択眼で読むかどうかを選択できるはずです。

文献検索が好きという方にはお会いすることはめったにありません。ここまで読んで検索はやはり面倒と思われたかもしれません。いきなり文献データベースを検索せず、まずは手軽なインターネットでどのような言葉で書かれているかを確認してから文献データベースを検索したほうが近道のことがあります。お試しください。

2019年夏に、日赤図書室協議会の研修会で同じ題名でお話する機会をいただきました。図書館で働いている方を対象とした研修会でしたので、資料を探す利用者を支援するという視点でお話を致しました。同じ題名で雑誌へ投稿する機会を頂戴しましたが、原稿はリポジトリでネット公開されるそうですので、資料を探す看護師の方にもネットで見つけたら活用いただける内容にしようとして少し内容を調整いたしました。尚、文章内で用いた検索事例は、実際の相談を基に変更したものです。